



平成 18 年 10 月 27 日

各 位

会社名 レ シ ッ プ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 杉 本 眞
(コード番号：7 2 1 3)
問合せ先 取締役管理本部長 山 口 芳 典
(電話番号：058-323-7647)

業績予想（平成 19 年 3 月期中間）の修正及び特別損失発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 11 日に公表いたしました平成 19 年 3 月期中間(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。また、連結子会社である THAI LECIP CORPORATION LIMITED におきまして特別損失が発生いたしますので、併せてその概要をお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 単体中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	6,510	260	300	200
今回修正予想 (B)	6,600	240	290	190
増減額 (B-A)	90	△20	△10	△10
増減率 (B対A)	1.4%	△7.7%	△3.3%	△5.0%
(ご参考) 前年同期実績 (C)	7,379	691	733	461
増減率 (B対C)	△10.6%	△65.3%	△60.4%	△58.8%

2. 平成 19 年 3 月期 連結中間業績予想数値の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日） (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	7,660	300	280	185
今回修正予想 (B)	7,510	240	250	140
増減額 (B-A)	△150	△60	△30	△45
増減率 (B対A)	△2.0%	△20.0%	△10.7%	△24.3%
(ご参考) 前年同期実績 (C)	9,086	794	806	465
増減率 (B対C)	△17.3%	△69.8%	△69.0%	△69.9%

3. 特別損失の発生及びその内容

連結子会社である THAI LECIP CORPORATION LIMITED (以下 TLC と略します。) は、1994 年頃 (当時は THAI SANYO DENKI CORPORATION LIMITED) において、当時の現地代表者が所定の手続きを経ずに、同社の取引先がタイ国の金融機関に負う借入債務を保証していたこと、及びこの件に関しての訴訟が継続していたことが近時判明いたしました。そのため TLC は、本年 9 月に原告側と 650 万バーツ (日本円で約 19 百万円) を支払うことで和解を成立させ、和解金を支払っております。これにより、当該金額を当期の連結中間業績予想に特別損失として計上するものであります。今後、かかる事態の発生を二度と招かないように、管理体制の整備に努めてまいります。

4. 業績予想の修正理由

(1) 単体

当社は連結子会社である LECIP U. S. A., INC. 向けのネオン変圧器を米国の倉庫で委託保管しておりましたが、これを当中間期末の 9 月に全数同社に販売いたしました。しかし予定より販売数量が増加したことなどにより、売上高は前回発表予想に対し若干増加する見通しであります。

一方、銅価格等の原材料の高騰は依然として続いており、前回発表予想よりも若干利益を圧迫いたしますため、営業利益及び経常利益、並びに中間純利益はいずれも前回発表予想を下回る見通しであります。

(2) 連結

単体業績予想での修正に加え、連結決算上の取引消去額が前回発表予想より増加いたしましたため、連結業績予想での売上高は前回発表予想に対し減少する見通しであります。また、営業利益及び経常利益ならびに中間純利益も、単体業績の修正要因及び連結子会社での特別損失の発生によりいずれも前回発表予想を下回る見通しであります。

なお、通期の業績見通しにつきましては、バス用運賃収受関連製品の導入が下期にシフトしたことによる増加に加え、「Suica 電子マネー」「携帯クレジット」に係る物販用途向け共用読み取り端末の納入が下期に開始される見込みであること、並びに鉄道市場向け製品などその他の製品も好調な販売が見込まれますことから、単体・連結ともに平成 18 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想に変更はございません。

※業績予想につきましては、発表日現在の情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と異なる場合がありますので、予めご承知願います。

以 上